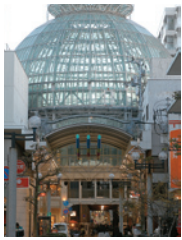




2 エッセイ／“おかね”を語る  
右から左 作家 木内 昇

4 インタビュー／扉を開く  
歌に祈りを込めて オペラ歌手 森 麻季



9 地域の底力——高松丸亀町  
四百年の伝統を守りつつ新たな手法で  
町を再生させた高松丸亀町商店街を訪ねて

16 金融広報中央委員会を知っていますか  
金融広報中央委員会会長 小林信介



20 日本銀行の建物／その歴史と変遷について [2]  
明治大正期の本店本館 日本銀行文書局技師 中村茂樹

24 リニューアル！ 日本銀行ホームページにアクセスしよう！

26 日本銀行のレポートから  
「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) — 2011年4月 — 【基本的見解】

33 トピックス

35 AIR MAIL from NEW YORK  
どん底から立ち上がってくる力



## 表紙のことば

日本銀行静岡支店は、静岡県全域の業務を円滑に遂行するため、昭和十八年（一九四三）六月に二三番目の支店として静岡市下石町（現在の葵区常磐町）に開設された。

開設当初の店舗は、わずか二年後の昭和二十年六月に第二次世界大戦の空襲により金庫館を残して焼失。直ちに、静岡銀行本店内等を仮営業所として営業を再開、同年十一月、旧静岡銀行本店の建物（呉服町）を買い入れ移転した。初代店舗があった場所は、戦後、娯楽施設が建ち静岡市の復興を支えた。

今回表紙に掲載した現在の店舗は、二度目の移転で昭和四十七年十月、金座町にて営業を開始。町名の由来となった金座は、江戸時代において大判を除くすべての金貨の鑄造を幕府から独占的に請け負う貨幣鑄造組織で、徳川家康の駿府（静岡市）隠居に伴い開設された「駿河小判座」が置かれていた。駿府城下の金座と日本銀行静岡支店は、今も昔も通貨に関係の深い場所となっている。

